

よんでネット*

夏号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「ドームがたり」

アーサー・ビナード作 スズキコージ画

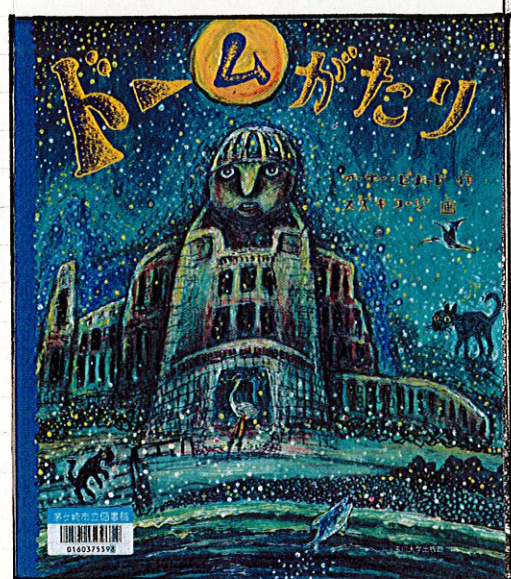
はじめまして。ぼくの名前は「ドーム」。

ぼくはもう100歳をこえたんだ。生まれたとき
ぼくの頭は こんなスカスカじゃなかった。

名前も「^{ばん}原爆ドーム」じゃなくて「^{びつ}広島県物
産陳列館」。いろいろな品物があふれ、
たくさんの人でにぎわっていた。

でも、1945年8月6日の朝、すべてが変わ
った。

ぼくの話ときいてくれますか？



玉川大学出版部 [E・絵本のコーナー]

「昆虫の体重測定」

吉谷昭憲 文・絵



福音館書店 [483]

毎年、学校でやる体重測定。

だけど、小さくて、軽くて、飛んでしまう昆虫の体重測定
ってどうするんだろう？

「電子天びん」を使うと、うんと軽いものも測れる
ことができる。でも飛ぶ虫を測るにはひと技いる。
同じくらいの大きさでも6倍も重さがちがうチョウ
もいるし、成長するにつれて軽くなっていく昆虫も
いる。

体重測定で昆虫の不思議がみえてくる。

「タイガー・ボーイ」 ミタリ・パーキンス 作
 ジェイミー・ホーガン 絵 永瀬比奈 訳

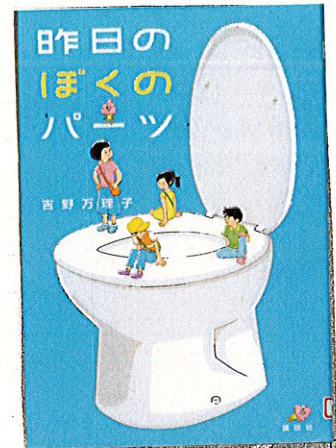


インドの小さな島に住むニールは小学5年生。奨学金で
 大都会の中学に行けるほど成績がよい。でもニールは、
 島が好きだ。ある日、島の動植物の保護区からトラの子
 が逃げだした。ニールは、密売しようとする人たちからトラの子
 を守ろうとする。家の手伝いで学校に通えないセ市さんから
 「かしこい頭を存分に使て。」とはげまされ、ニールの
 とった行動は？

すずき出版 [933ハ] *****

「昨日のぼくのパンツ」 吉野万理子

トイレにすぐに行きたくなる。学校のトイレに行けな
 い…。なかなかまわりにいえない排泄のなやみ。
 でも意外とみんなだてなやんでる!? 大志は入院して
 自分でトイレに行けなくなったおじいちゃんのために、
 トイレを自由研究のテーマに選んだ。するとわかったんだ。
 自分のパンツがなんなのか…。



講談社 [913ヨ]



「願いごとの樹」 キャサリン・アップグレイト 尾高薫 訳

私は「願いごとの樹」とよばれる古いオクの木だ。人々は私の
 幹や枝に願いごとを結びつけていく。ある夜、イスラム教徒の少
 女サマルがやってきた。移民が多く暮らすこの町も、サマルの
 家族だけは歓迎していない。なぜ？ サマルの願いはひとつ
 「友だちがほしい」。木の私にできることは限られている。それで
 も私は私にできることをしようと思った。

偕成社 [933ア]

「まなぶ」 長倉洋海 アリス館 [74ナ]

世界にはたくさんの国があって、いろいろな学校がある。
 地面にわらをしきつめた教室。コンテナでの授業。湖の上にも
 学校がある。どの子の顔も好奇心でいっぱい。顔も姿も
 暮らしもちがう世界中の子どもたち。でも、まなびたい気持
 ちはみんなおなじ。そのまなびの先に「自分だけの道」が
 見えてくるよ。

